

【先-5】 江田駅周辺モーダルミックス官民連携事業調査 (対象箇所:神奈川県横浜市)

【実施主体】横浜市

平成26年度

調査目的・これまでの経緯

本調査は、道路(一般道、高速道路)及び鉄道が結節する東急田園都市線・江田駅周辺を対象に、駅前再開発ビルと交通連携施設との一体整備における官民連携の事業スキームのあり方等を検討したものである。

平成23年3月「田園都市線駅周辺まちづくりプラン(横浜市)」策定
平成24~25年度 江田駅・青葉IC周辺の交通連携について、関係機関(国土交通省、NEXCO中日本、東急電鉄、横浜市)で意見交換を実施

施設の概要

江田駅周辺モーダルミックス官民連携事業(仮称)
敷地面積:1.3ha
建築面積:0.8ha
公共施設:高速バスターミナル、パーク&ライト駐車場等
民間施設:駅前再開発ビル
特徴:交通連携施設(インフラ)と民間施設の一体建築物



調査結果

1. 官民連携によるモーダルミックス拠点のあり方検討の調査

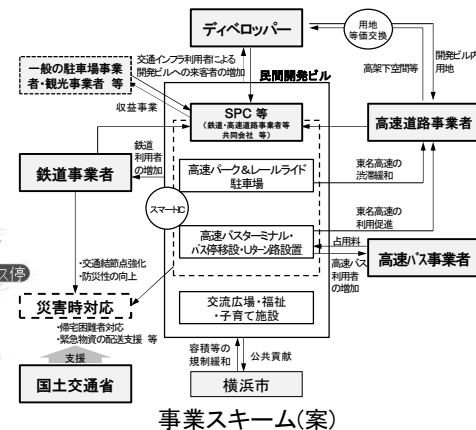
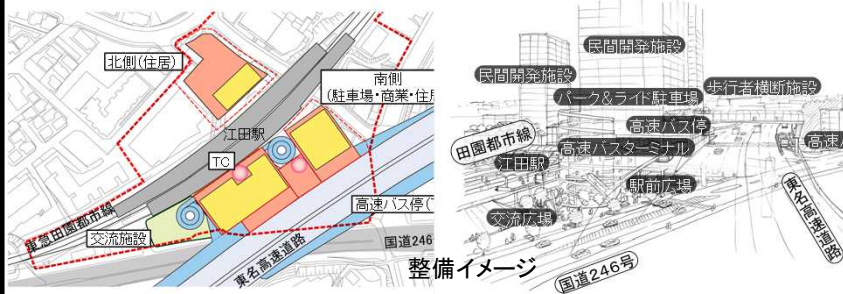
関連計画及びヒアリング調査等を基に、利用者や地域のニーズを把握し、まちづくり方針・モーダルミックス拠点の役割を検討した。

2. 施設整備の概略検討

- ◆高速バス停・高速バスターミナル:高速本線バス停移設・高速バス発着ターミナル(管理施設含む)等を計画、災害時の帰宅困難対応・緊急物資搬送機能も付与
- ◆高速パーク&レールライド:東名高速の容量解析等を通じ、渋滞緩和に資する駐車場規模を設定 等

3. 事業スキームの検討

受益構造分析等を通じて、事業スキームを検討した。また、事業者間の用地等価交換、鉄道・高速道路事業者等の協働運営を立案した。(参考:官民連携による事業コストの削減量-9.8%)



今後の展望

○今後の予定

- 平成27年度 関係者による継続的検討(検討組織の拡充など)
- 平成28年度以降 都市計画等関連計画及び地元との調整など

○事業化にあたっての課題

- 施設整備にあたっての課題
 - ・施設計画の深度化・設計
 - ・交通連携施設の運用・管理方法検討
 - ・江田駅周辺の土地利用規制緩和(都市計画の変更)
- 制度面での課題
 - ・官民連携による交通結節点の連携促進に資する制度設計・仕組みの検討
 - ・官民連携施設に対する既存制度の要件等の緩和

上記課題について、平成27年度も関係者で継続して検討・調整し、解決を図る。